

「(仮称)野洲市立病院整備基本計画」の 策定および現在の状況について

市民の健康と医療を守る中核的医療拠点となる市立病院設置に向けて、市では平成23年以降検討を重ねてきました。まず市立病院の必要性や可能性、その病院像等について慎重な検討と議会審議を積み重ね、平成26年3月には「(仮称)野洲市立病院整備基本構想」を策定しました。

今回市では、基本構想をより具現化するために、①病院像、②病院施設、③収支計画等について検討し、医療専門家などによる「(仮称)野洲市立病院整備基本計画評価委員会」の評価および市議会都市基盤整備特別委員会の審議を踏まえ「(仮称)野洲市立病院整備基本計画」を策定しました。

なお、平成27年度は、基本設計にかかる計画でしたが、市議会です算が継続審議となったため作業が中断しています。

《(仮称)野洲市立病院整備基本計画の概要》

※計画の詳細は市ホームページをご覧ください。

①病院像

○病院の役割

- 中軽度の症状での入院、通院患者への対応
- 大学病院などの急性期で重度な医療を担う病院と自宅療養の間をつなぐ役割
- 在宅医療を推進する上で診療所等の後方支援の役割

○診療科

- 内科、小児科、外科、整形外科、婦人科、泌尿器科、眼科、リハビリテーション科、人工透析、耳鼻いんこう科

○病床数 180床程度（一般病床100床、回復期リハビリテーション病床40床、地域包括ケア病床40床）

○主な医療機能

- 5疾病（悪性新生物、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）・4事業（救急医療、周産期医療、小児医療・小児救急、災害医療）への対応

○運営形態

- 市の直接運営（地方公営企業法全部適用）

○職員数

- 医師26人、看護師110人、技術員・労務員・事務職員等126人

②病院施設

- 施設整備費用約76億円（駐車場整備費用は除く）

- 用地取得費5.6億円、建設工事費48.6億円、医療機器整備費6.7億円、開院初年度運営費7.3億円ほか
- 建築面積4,400㎡、敷地面積5,500㎡、延床面積13,500㎡
- 駐車場は別事業で整備のものを貸借利用予定
- 立地場所 野洲駅南口周辺市有地

③収支計画

今回の基本計画を基に試算した病院事業収支計画は、開院16年目より経常収支で黒字となっています。

《(仮称)野洲市立病院整備の今後の進め方と現在の状況》

（仮称）野洲市立病院整備基本計画の策定にかかる検討内容について「(仮称)野洲市立病院整備基本計画評価委員会」からは、現時点での病院像の位置付けとして提案の病院像を認め、更なる経営努力を条件に基本計画を進めることの見解を受けました。また、市議会都市基盤整備特別委員会で当計画の策定内容について審議が行われました。

平成27年3月24日開催の市議会に、病院整備にかかる基本設計等の業務委託にかかる費用として平成27年度野洲市一般会計補正予算第1号を提案しました。この補正予算の提案説明の全文を資料として左のページに掲載しています。

補正予算は、議員提案により継続審査となり、現在、必要な予算が措置されていないため、今年度予定していた事業が停止しています。

問い合わせ…地域戦略室 ☎587-6141、FAX 586-2200

野洲駅南口周辺整備構想の具体化を進めていきます！

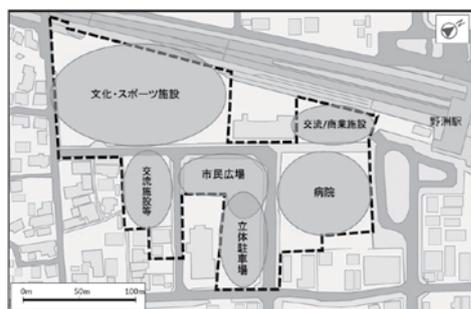
本年3月に野洲駅南口周辺整備構想（※）を策定しました。病院整備の基本設計等の予算は継続審査となっていますが、今年度、市民広場、交流/商業施設等について施設内容および規模、整備手法等を検討していきます。

これまで駅前周辺のまちづくりについて、情報交換等を行ってきた独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）と「都市再生の推進に関する基本協定」を締結し、UR都市機構が有している都市再生のノウハウを提供いただきながら検討を進めていきます。

市民の皆さんには、随時、情報を発信するとともに、話し合いの場を設けるなどオープンな議論を進めていきます。

※市HPで公開しているほか、都市計画課窓口で閲覧できます。

問い合わせ…都市計画課 ☎587-6324、FAX 586-2176



《資料》

平成27年度野洲市一般会計補正予算第1号 市長 提案説明（全文）

（平成27年3月24日）

今回の補正予算は、市立病院整備推進事業費で市立病院を整備するための基本設計に要する費用や市立病院開設支援業務、そして市立病院医療情報システム等整備計画策定費用等8,871万5千円を追加し、これをもって、市立病院の開設協議及び許可手続を進めるものです。一方、歳入につきましては、財政調整基金からの繰入金8,700万円を追加しようとするものです。

なお、市立病院整備事業につきましては、平成23年4月の野洲病院から市に対する『新病院基本構想2010』の提案を受けて行った、野洲市における「地域医療における中核的医療機関のあり方検討」。また、その検討で出された野洲市には病院必要との結論を受けて行った、平成24年の新病院整備可能性の検討。その検討での可能性ありとの結論を受けて策定した、『野洲市中核的医療拠点のあり方に関する基本方針』及び平成26年3月の「（仮称）野洲市立病院整備基本構想」、そしてこの構想に基づき今年度の病院整備基本計画の策定と、専門家等の協力も得て、市民及び議会の皆さん参画のもとに、全て公開で順次検討と決定の手続を重ねてきたものです。この4年間の持続的な取組は市民の健康と命を守るという熱く、強い市民の期待に支えられてきたものです。

基本計画段階の経営見通しでは、病院会計への一般会計からの基準内繰り入れは交付税額を除き、年間約3億円と試算され、資金余剰不足についても、交付税が満額措置されない開院初年度の2億円を除き2年目からは発生がなく、赤字補填が不要となっています。

従来から民間病院である野洲病院に対しては、毎年恒常的に1億数千万円を一般財源から支援しており、実質的な増額は約2億円を下回る見込みです。民間病院である野洲病院では、施設及び装備の老朽化等により、職員の使命感にもかかわらず良質の医療サービスの提供の限界に達しています。これに代わって、新病院が整備され、施設、機能、職員体制が充実され、サービスが向上することを評価すれば十分見合うものであり、市民のご理解が得られるものと考えています。

なお、試算では収入に関しては堅い目に、また施設等の経費、特に人件費に関しては逆に緩めに見ており、16年目の黒字転換も今後の基本設計作業の中で前倒しの余地も十分あると考えています。2億円弱の一般財源からの繰り出しも、現行でも、何とかやりくりの出来る範囲であると考えますが、過去のツケで見えにくい借金として既に公表しています、工業振興助成金5千万円をはじめ、びわこ学園用地費返済費約6千4百万、民間福祉施設の施設整備補助、PFI施設整備委託料など合わせて年額約3億円弱の恒常的な負担が平成30年前半に解消すれば、一層対応力が増すと考えます。

さらに、現在でも、たとえば、学童保育で1億6千万円、ごみ処理で6億6千万円、国民健康保険等の保険事業での総額約6億5千万円、農業集落排水を含む下水道事業での基準外を含む約5億2千万円、循環バス事業での約2千7百万円、一次・二次救急医療での約1千6百万円、特別支援教育での約2千8百万円、これらの一般財源からの持ち出しを、さらには、保護者の長年の期待である病児、病後児保育サービスの可能性が高まることや発達支援及び在宅医療も含めた高齢者の包括支援の充実なども考慮するならば、この総額で約3億円弱の一般財源からの基準内繰り入れは、市民の健康と医療、ひいては安心を確保するための経費として決して優先度の低いものではないと考えています。

この予算案につきましては、基本計画の策定を慎重に進めた結果、補正予算案として提案することになり、議員の皆さま方にはご迷惑をおかけすることとなりました。改めて心よりお詫び申し上げます。しかし、対象となる事業に関しましては、議会においてもこれまで本会議及び特別委員会の審議において十分熟議いただいたものであり、只今の説明もこれまでの機会において、議員の皆様にごすでにお話してきたことであります。今議会において慎重にご審議の上、適切にご決定をいただきますようお願い申し上げます。

野洲川ふれあい広場 せせらぎ水路の流水の停止のお知らせ

毎年夏季に野洲川の水を利用し、流水を行っておりますせせらぎ水路ですが、水路の老朽化と維持管理費の面から今年度より流水を停止することとなりました。

なお、ふれあい広場については水路部分を除いて引き続きご利用いただけます。

問い合わせ…都市計画課 ☎587-6324、FAX586-2176

「花咲くやす」関係CD等を 無償配布します

昨年11月の市制10周年記念式典で披露された新たな楽曲「花咲くやす」の音楽CD等（有志により提供）を市内音楽団体にも広く演奏いただくため、無償で配布します。希望される市民団体は、市民活動支援センターに申し込んでください。

問い合わせ…同センター ☎518-0556、FAX518-0557